



敦賀市公認
キャラクター
よっしー

近世敦賀の幕開け

吉継の治めた湊町

前期 9月18日(土)～10月17日(日)
後期 10月19日(火)～11月14日(日)
(前期展と後期展で資料の入れ替えを行います)

15世紀後半から16世紀後半にかけての戦国時代、敦賀は越前を治めた戦国大名・朝倉氏の支配下にありました。天正元年(1573年)、織田信長の2度目の越前攻めにより朝倉氏が滅亡し、敦賀は織田政権の下に入ります。

これ以降、戦国末期から近世初期にかけては、長く続いた乱世が次第に終息に向かい、統一政権による平和と安定の時代へ変化していきま

す。そうした中で流通が盛んになり、経済も飛躍的に発達します。古代から日本海側唯一の港町であった敦賀も、日本海海運の成長とともに、畿内へとつなぐ交通の結節点としての役割を大きくしていくのです。

この頃の敦賀湊は、年貢米を一手に商い、物資等の輸送を担うなど、大名勢力と強く結びついて大きな富を築いた道川、高嶋屋、打它宗貞等に代表される初期豪商が活躍して、長い歴史の中でも有数の繁栄期を迎えます。

当時の敦賀湊の賑わいぶりを想像させるのが、豊臣秀吉による伏見城築城のための大量の杉材(太閤板)を、東北の秋田から敦賀へ船で運ぶという一大事業です。豊臣政権下に

入った秋田の諸大名は、天下人である秀吉から割り当てられた杉材の輸送を敦賀の豪商や各地の船持ち商人に依頼しています。この敦賀での受取責任者となっていたのが、当時の領主であった大谷吉継です。

吉継やそれ以前の武藤氏、蜂屋頼隆といった領主たちは、敦賀の商人を保護して経済活動の活性化を促し、敦賀の町の整備を進めるなどして、近世敦賀の繁栄の基礎を築いています。

船持ち商人たちは、日本海側各地の湊を往来し、大名家の蔵屋敷なども請け負って、敦賀に富を集積させています。この時代の繁栄・蓄積が、江戸時代のみならず現在の敦賀の文化にも大きな影響を与えています。

今に伝わる敦賀の山車や西町の綱引きといった伝統行事の豪華さも、この時代の繁栄を基礎として成立していると言えるでしょう。

今回の特別展では、地域の歴史の一画期ともいえるこの時代を、領主・商人・文化等のさまざまな側面から、古文書や美術資料等を通して見つめ、日本海海運における敦賀湊の重要性を再確認します。

▼木製加飾腰高障子

華麗な装飾が施された障子で、敦賀城から移されたものと伝えられています。通常未公開の四面を展示します。

【来迎寺蔵(福井県指定文化財)】



▲四戦場之図屏風

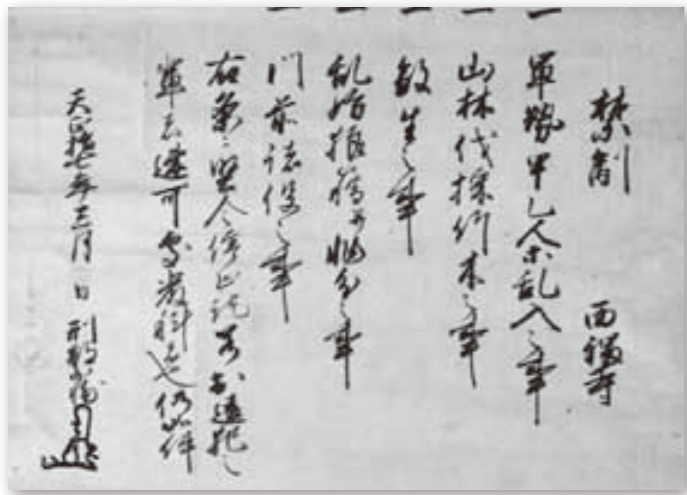
(展示は写真複製)
笈ノ川河口に敦賀城の姿が描かれています。

【前田土佐守家資料館蔵】

▲夷子面

国指定重要無形民俗文化財・敦賀西町の綱引きに古くから使われてきた古面です。

【夷子大黒綱引保存会蔵】



▲大谷吉継禁制

吉継が敦賀の領主となった際に出された禁制です。

【西福寺蔵(福井県指定文化財)】

記念講演会

第1回 10月9日(土) 14時～

ところ 市立図書館
講師 敦賀短期大学教授 外岡 慎一郎氏
演題 「大谷吉継とその時代」

第2回 11月6日(土) 14時～

ところ みなとつるが山車会館
講師 福井市立郷土歴史博物館 学芸員 印牧 信明氏
演題 「近世前期の敦賀湊と初期豪商」



8/29日 敦賀市 総合防災訓練 を実施します



いざという時のために
ご参加とご協力をお願いします！

- ※雨天でも実施しますが、台風などの荒天時には訓練を中止する場合があります。
- ※訓練実施(中止)のお知らせは、当日6時から防災放送チャンネル(RCN9チャンネル、デジタル209チャンネル)で放送します。
- ※訓練に伴い、煙が出たり、緊急車両がサイレンを鳴らしたりしますが、ご了承ください。

訓練会場

松島中央公園

訓練時間

9:30～12:00

対象地区

西地区・松原地区・西浦地区

主な訓練内容

敦賀市で大地震が発生したことを想定して、避難や消火、応急救護などの訓練を行います。

- ▶ 避難所参集訓練
- ▶ 孤立集落船舶避難訓練
- ▶ 災害ボランティアセンター運営訓練
- ▶ 飲料水確保訓練
- ▶ 消火器消火訓練
- ▶ バケツリレー消火訓練
- ▶ 倒壊家屋救出訓練
- ▶ ビル救出訓練
- ▶ 応急救護訓練

体験コーナー

- ▶ 災害用伝言ダイヤル体験訓練
- ▶ AED(自動体外式助細動器)取扱講習
- ▶ 防災用品の展示

2010

国勢調査



平成22年10月1日現在で、全国一斉に国勢調査が行われます。日本に住んでいるすべての人が対象です。

皆様のご協力をお願いします！

国勢調査 ってなに？

人口や世帯の実態を明らかにする国の最も重要な統計調査です。「国や都道府県、市町村の施策を支える土台」となりますので、日本に住む全員の回答が必要となります。

要注意！ かたり調査

国勢調査を装ったかたり調査にご注意ください。国勢調査員は「国勢調査員証」を身に付けています。調査票の提出の際は、調査員証などで調査員であることをご確認ください。



国勢調査は日本の未来や地域のまちづくりのための基礎資料になります！

国勢調査Q&A

Q 国勢調査で調べることは？

A 世帯員の15項目(男女の別、出生の年月、就業状態など)と世帯の5項目(世帯員の数、住居の種類など)の合計20項目を調べます。

Q 個人情報に漏れたりしない？

A 国勢調査は「統計法」で厳格な個人情報の保護が定められている上、国勢調査員は調査票の入った封筒を開封せずに市に提出します。

Q 調査にはどうやって答えるの？

A 国勢調査員が、9月下旬に皆さんの自宅へ調査票の配布に伺います。留守の場合は、「連絡メモ」で都合のよい日時や連絡方法をお尋ねします。また、提出は封入して①調査員に提出 ②郵送で提出のいずれかの方法をお願いします。

今回からここが変わりました

- ①個人情報保護意識に配慮し、調査票を封筒に封をして提出することになります。
- ②忙しい方も回答しやすいように、郵送での提出も選択することができます。

お知らせ

防災情報受信機(緊急告知FMラジオ) の配布が始まりました！

市が委託した宅配業者または敦賀市シルバー人材センターが、各家庭に受信機を配達します。

※市では、引き続き受信機の貸与申請を受け付けています。まだの方は、市民防災課へお申し込みください。



問合せ 市民防災課 ☎22-8166

問合せ 国勢調査敦賀市実施本部(総務課内) ☎22-8101